



2025年3月期 決算説明資料

株式会社要興業（東証スタンダード：6566）

2025年5月29日

- ◆ 2025年3月期 連結業績
- ◆ 2026年3月期 連結業績予想
- ◆ 株主様への利益還元
- ◆ 2025年3月期 トピックス

2025年3月期は、増収増益となりました。

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比
売上高	13,503	14,506	107.4%
営業利益	1,762	2,108	119.6%
経常利益	1,869	2,167	116.0%
純利益	1,285	1,513	117.7%
EPS	81.02	95.39	117.7%

※単位(百万円)、EPSのみ単位(円)

当社グループの概況



社 名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本 社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル
代 表 者	代表取締役会長 藤居秀三 代表取締役社長 木納孝
創 業	昭和47（1972）年6月
設 立	昭和48（1973）年4月
資 本 金	8億2773万6875円
子 会 社	株式会社ヨドセイ（東京都豊島区）
収集運搬 車 両	475台（2025年3月末日時点、連結） 323台（2025年3月末日時点、単体）
事業内容	・ 収集運搬・処分事業 ・ リサイクル事業 ・ 行政受託事業

＊ ＊ 社名の由来 ＊ ＊
創業当初、本社を構えた場所が
「東京都豊島区要町」
そこからとり
「要興業」となりました。



会長が兄弟姉と共に4人で興し、2022年には創業50周年を迎えています。

経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 永続発展をめざし、株主と社員を大切にします

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

産 産業廃棄物

板橋事業所
板橋リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ スプレー缶・ライターの破碎 産
- ◆ 蛍光ランプの破碎 産

子会社 (株)ヨドセイ



- ◆ 一般家庭の廃棄物の収集運搬
- ◆ 事業系廃棄物の収集運搬

城南島事業所
城南島リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類・金属くずの破碎 産

大森事業所
大森リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの破碎・選別圧縮・圧縮梱包 産
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産

本社



足立支社



足立区

板橋区

豊島区

大田区

出資先

バイオエナジー(株)



- ◆ 食品廃棄物のバイオ発電

(株)アルフォ



- ◆ 食品廃棄物の飼料化・バイオ発電

入谷事業所
第1・第2入谷リサイクルセンター



- ◆ 古紙の選別・圧縮
- ◆ 機密書類の裁断
- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 木製家具の選別
- ◆ ふとんの選別
- ◆ 機密性プラ製品の破碎 産
- ◆ 発泡スチロールの破碎・溶融 産
- ◆ スプレー缶・ライターの破碎 産

新鹿浜事業所
新鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類の破碎 産

鹿浜事業所
鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 産業廃棄物の積替保管 産
- ◆ 粗大ごみの破碎 産
- ◆ 蛍光ランプの破碎 産

千住事業所
千住リサイクルセンター



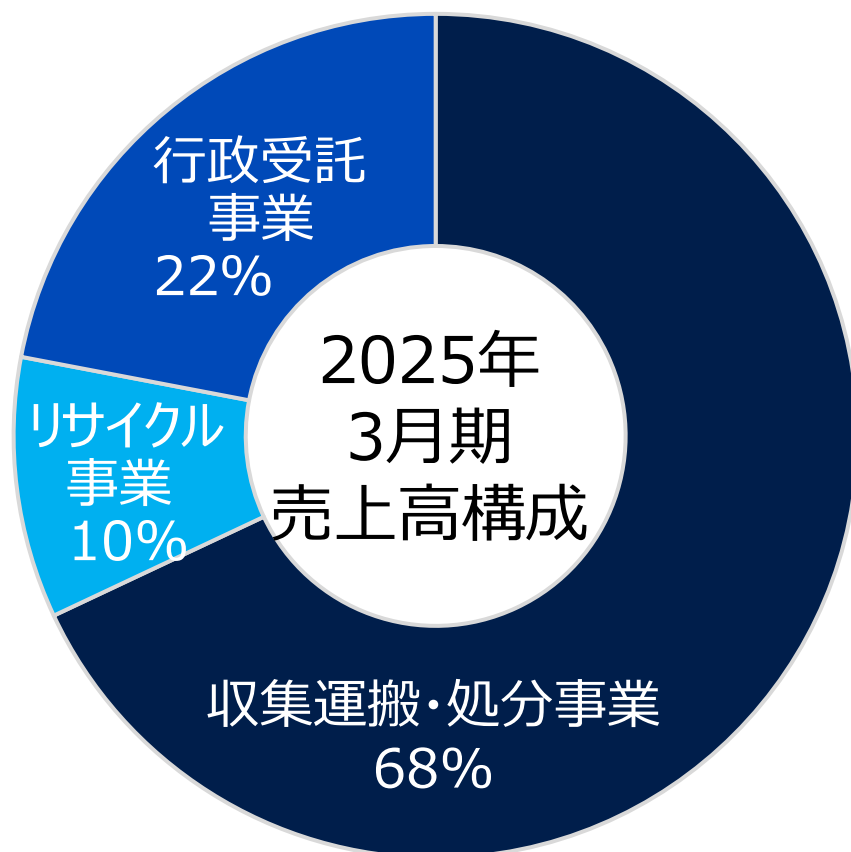
- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 事業系一般不燃廃棄物の圧縮
- ◆ ビン・缶・ペットボトルの破碎・選別圧縮・圧縮梱包 産
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産

2025年3月期 連結業績



廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上





収集運搬・処分事業

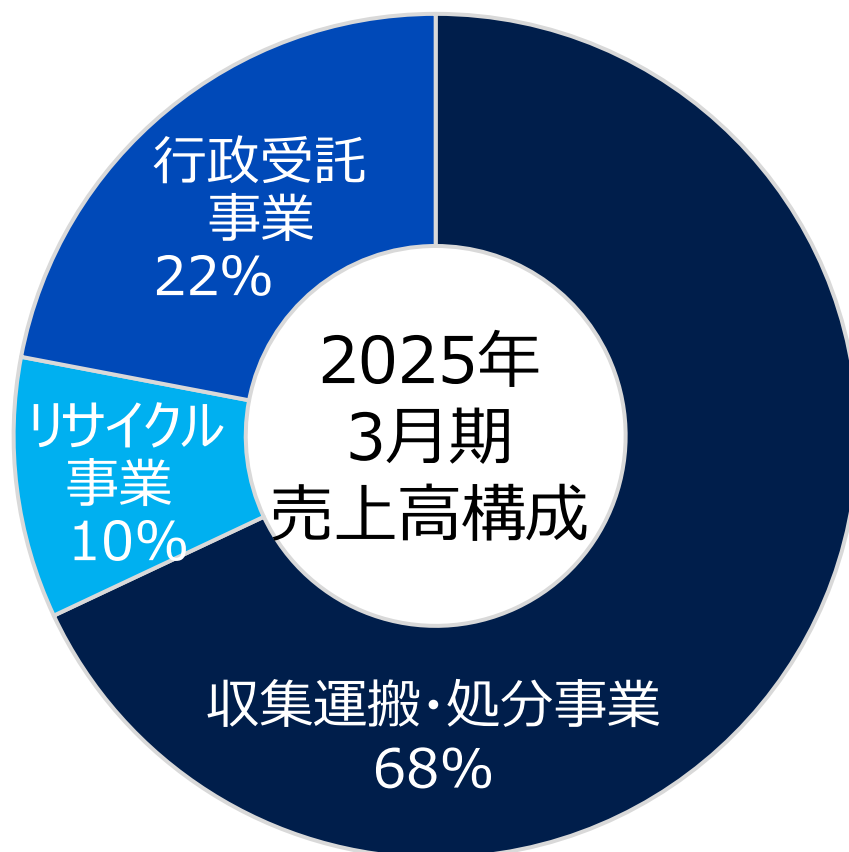
68%

リサイクル事業

10%

行政受託事業

22%



収集運搬・処分事業

68%

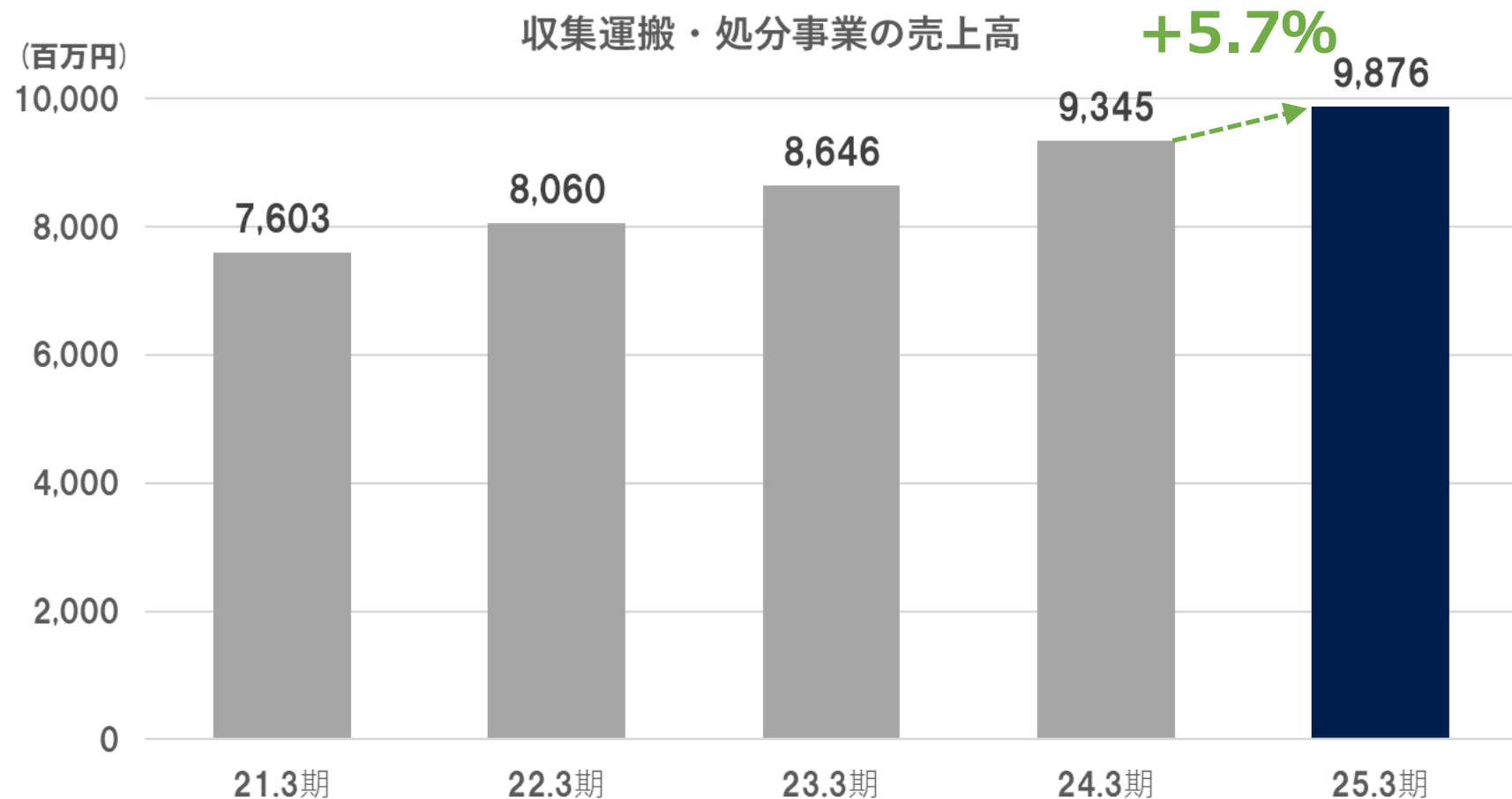
リサイクル事業

10%

行政受託事業

22%

- 収集運搬・処分事業の売上は98億7600万円と前期比5.7%の増収となりました。
- コロナ禍からの需要が回復してきました。
- コスト上昇分の一定程度を価格転嫁いたしました。



車両台数は475台（2025年3月末日時点、連結。単体で323台）

● 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



● 感染性廃棄物運搬車



● 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



● 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



● 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）



● 計量車両



リサイクルセンター・出資先の事業所、合わせて9拠点と、

東京二十三区清掃一部事務組合が運営する清掃工場

東京二十三区清掃一部事務組合
が運営する清掃工場

第1・第2入谷事業所
第1・第2入谷リサイクルセンター



- ◆ 古紙の選別・圧縮
- ◆ 機密書類の裁断
- ◆ 機密性プラ製品の破砕
- ◆ 発泡スチロールの破砕・溶融

城南島事業所
城南島リサイクルセンター



- ◆ 廃プラスチック類・
金属くずの破砕

大森事業所
大森リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの
破砕・選別圧縮・圧縮梱包
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮

出資先 ◆ 食品廃棄物

バイオエナジー(株)



(株)アルフォ



新鹿浜事業所
新鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 廃プラスチック類の破砕

鹿浜事業所
鹿浜リサイクルセンター



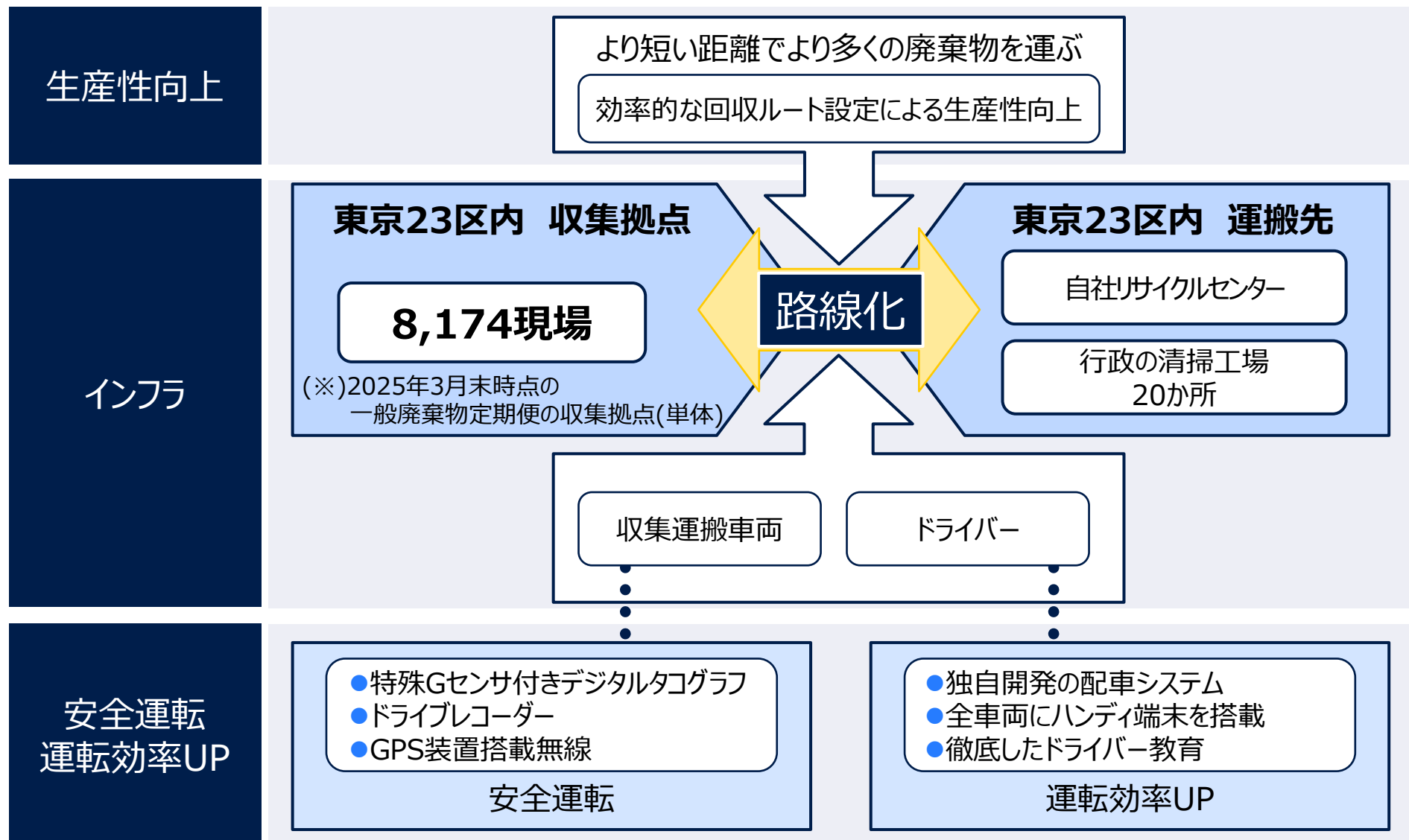
- ◆ 産業廃棄物の積替保管
- ◆ 粗大ごみの破砕
- ◆ 蛍光灯の破砕

千住事業所
千住リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの
破砕・選別圧縮・圧縮梱包
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮

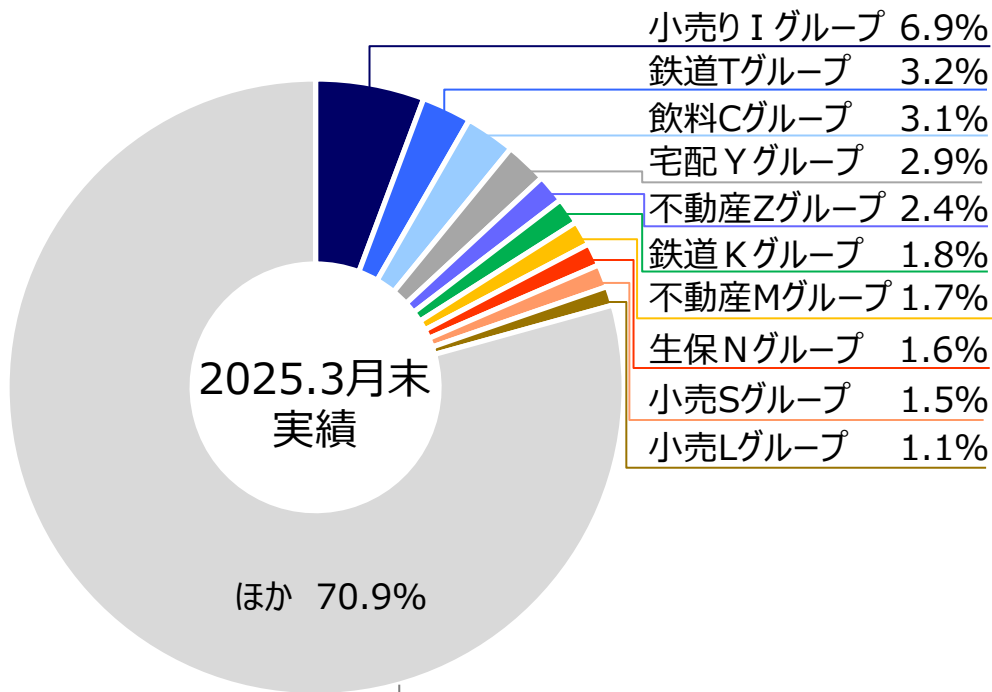
東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立



業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制
コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

顧客別売上高構成比（％）

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、
一般企業、など**3,795社**が顧客（単体）



流通、小売り、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、
証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など
あらゆる業種、事業体

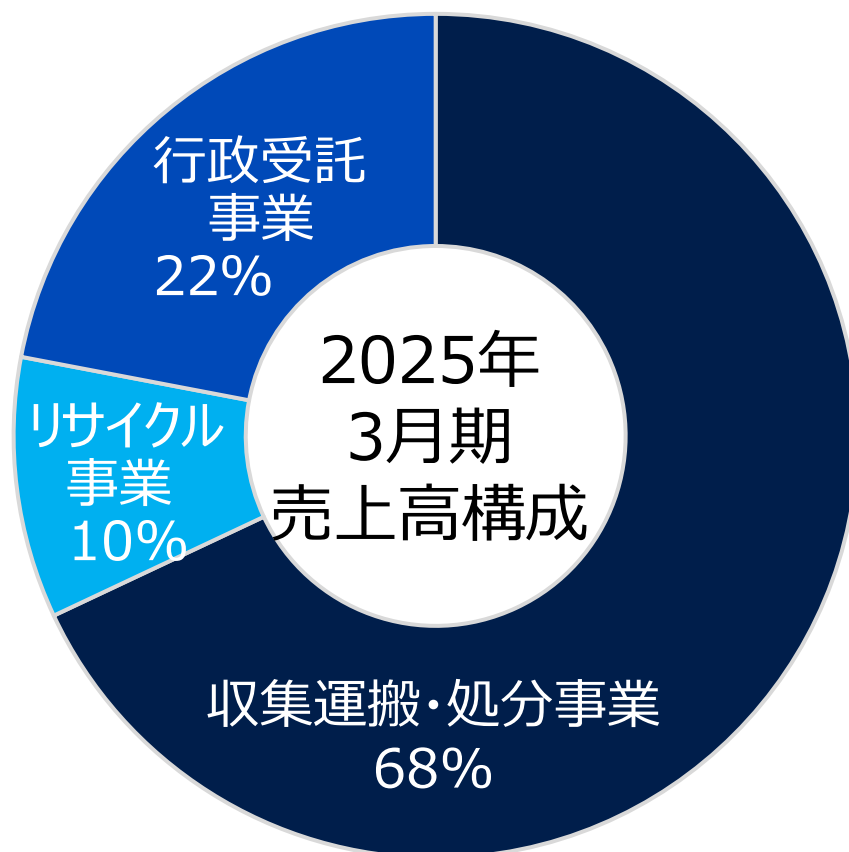
業界随一のコンプライアンス体制

- ◆ 自社開発ソフトによる電子マニフェスト管理
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

継続的な施策の実施
社会的信頼を得る努力

業界唯一のコンサルティング営業

- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など



収集運搬・処分事業

68%

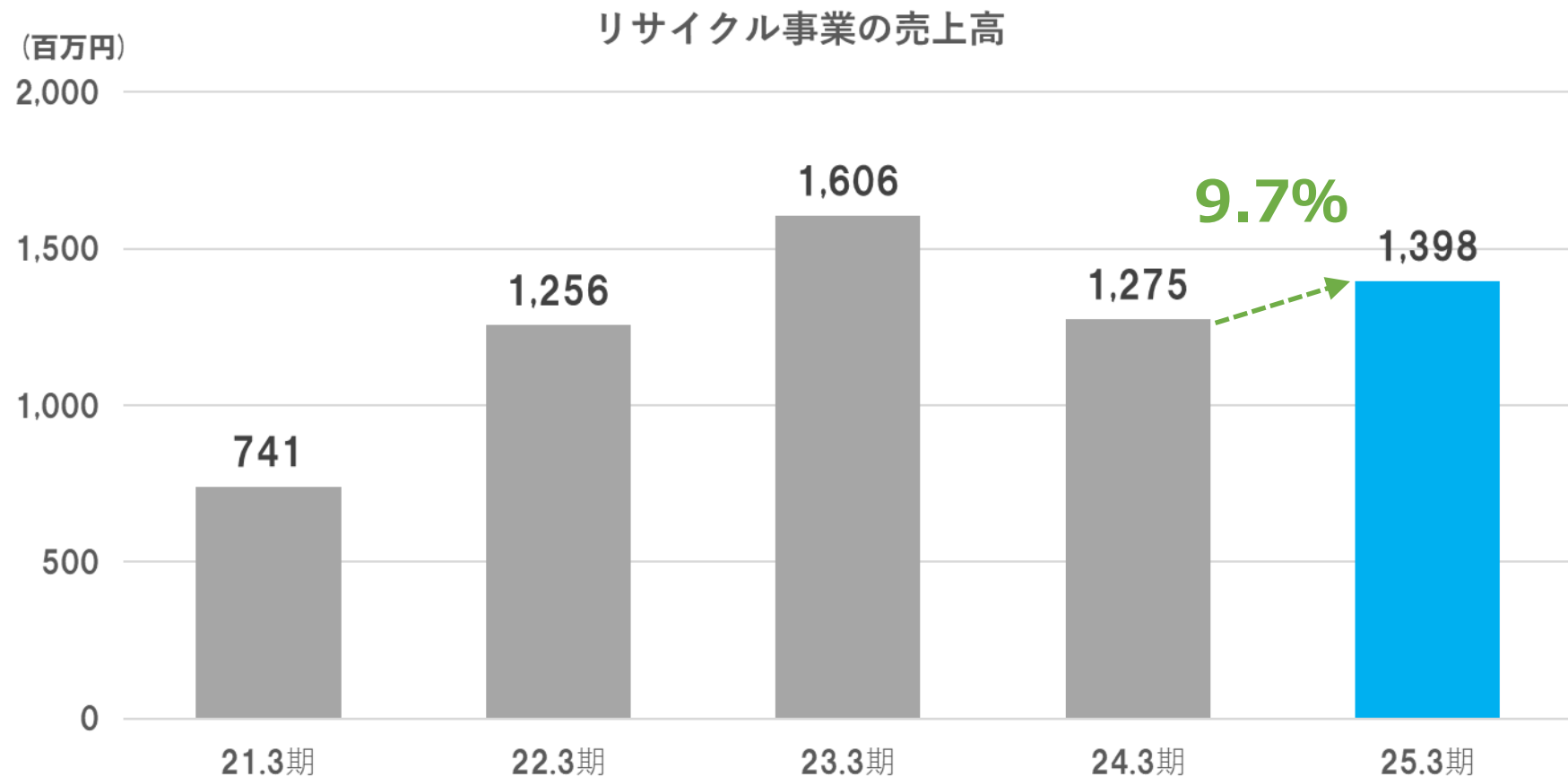
リサイクル事業

10%

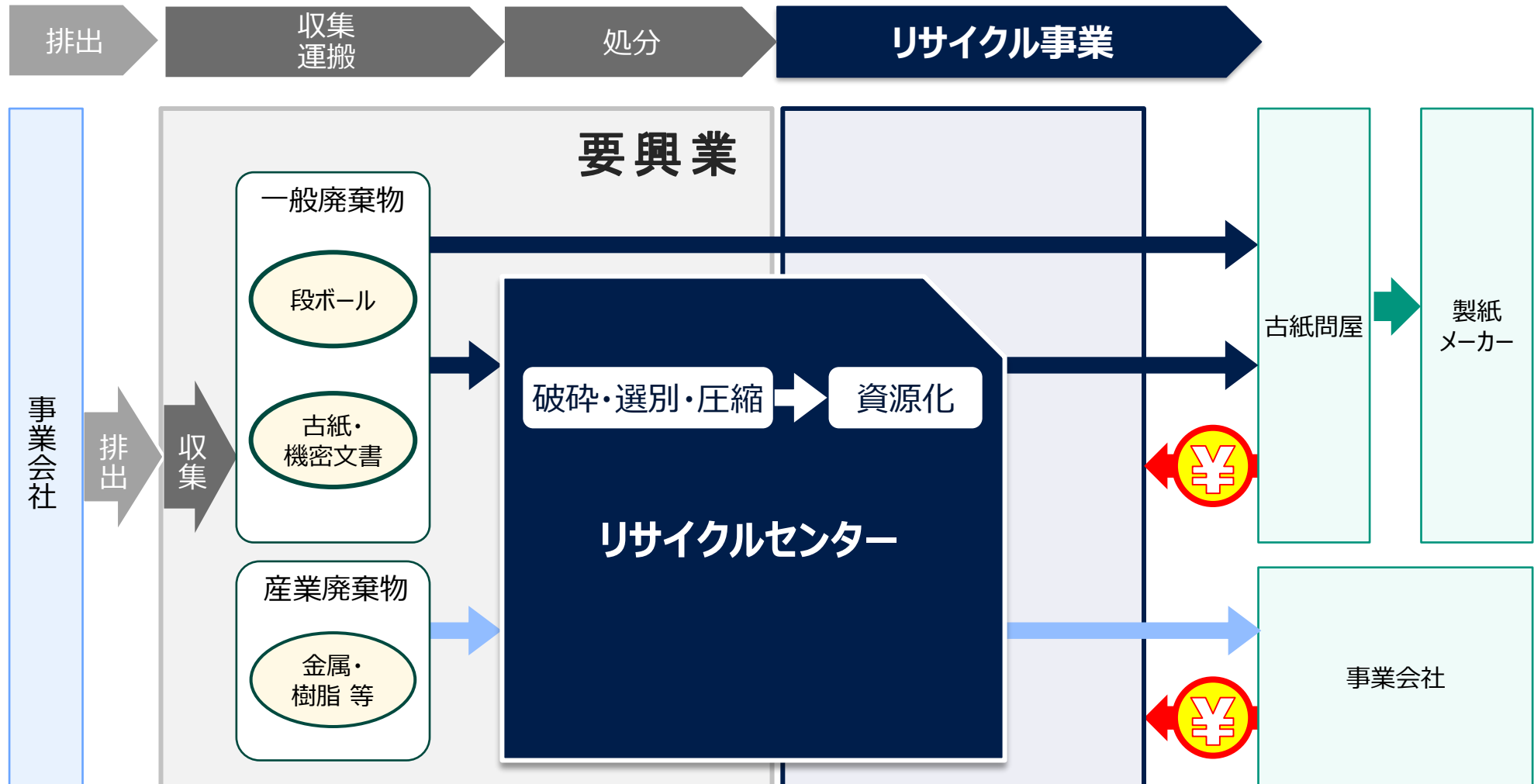
行政受託事業

22%

- リサイクル事業の売上は13億9800万円と前期対比9.7%の増収となりました。
- 資源価格が前年に比べて上昇いたしました。



収集運搬した廃棄物を加工し、リサイクル（再資源化）して**販売**する事業



23区内の自社リサイクルセンター・アライアンス先で再資源化



古紙ボール



発泡スチロールインゴット



段ボールボール



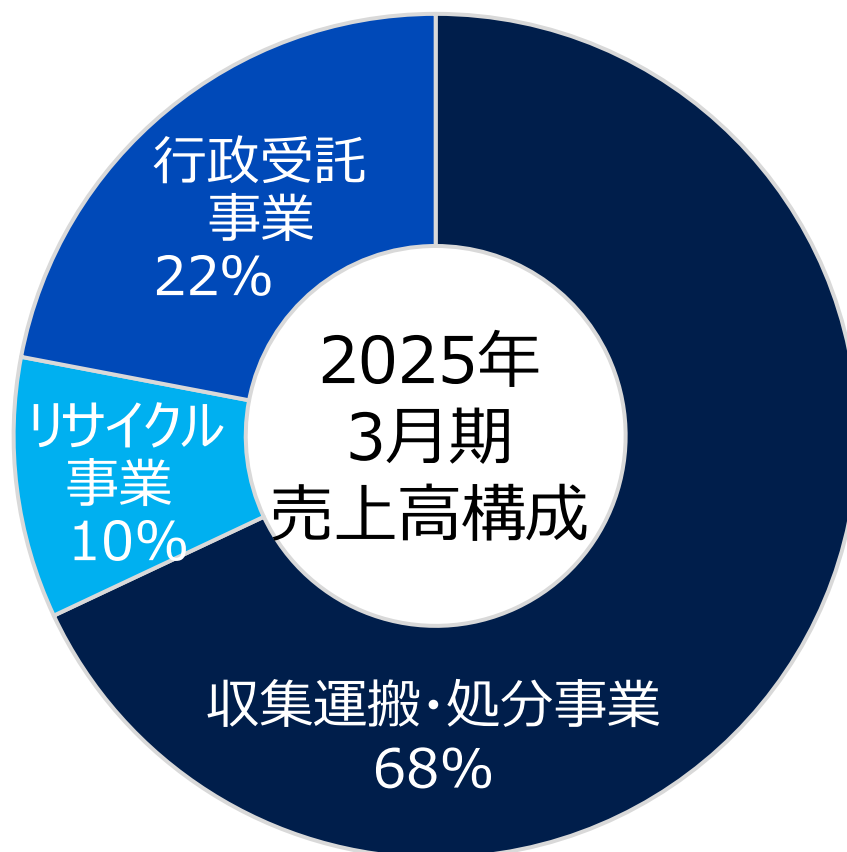
アルミ缶プレス



PETボール



スチール缶プレス



収集運搬・処分事業

68%

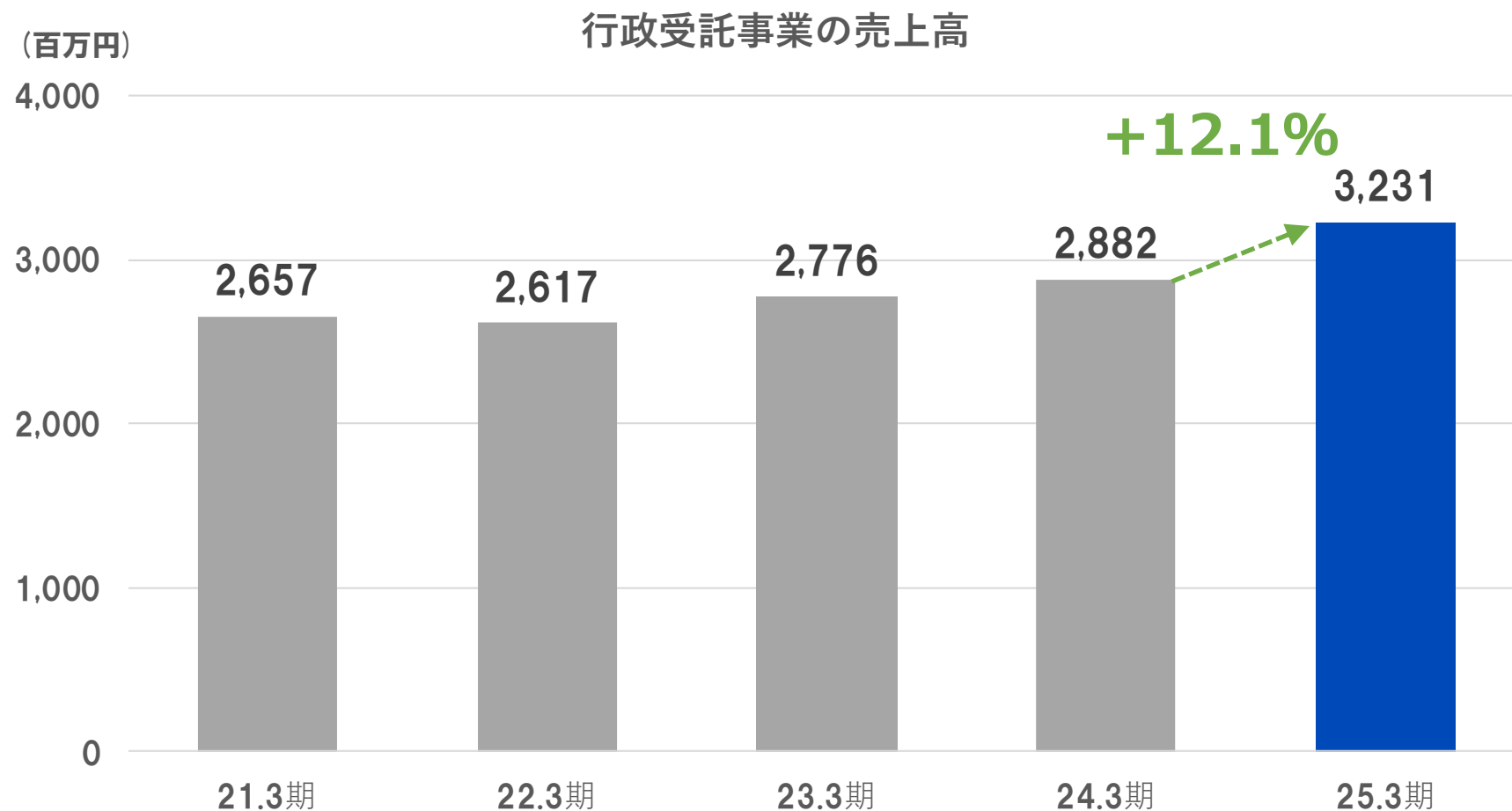
リサイクル事業

10%

行政受託事業

22%

- 行政受託事業の売上は32億3100万円と前期比12.1%の増収となりました。
- 新たに家庭系のプラスチックの受託事業を開始したこと等が要因となります。



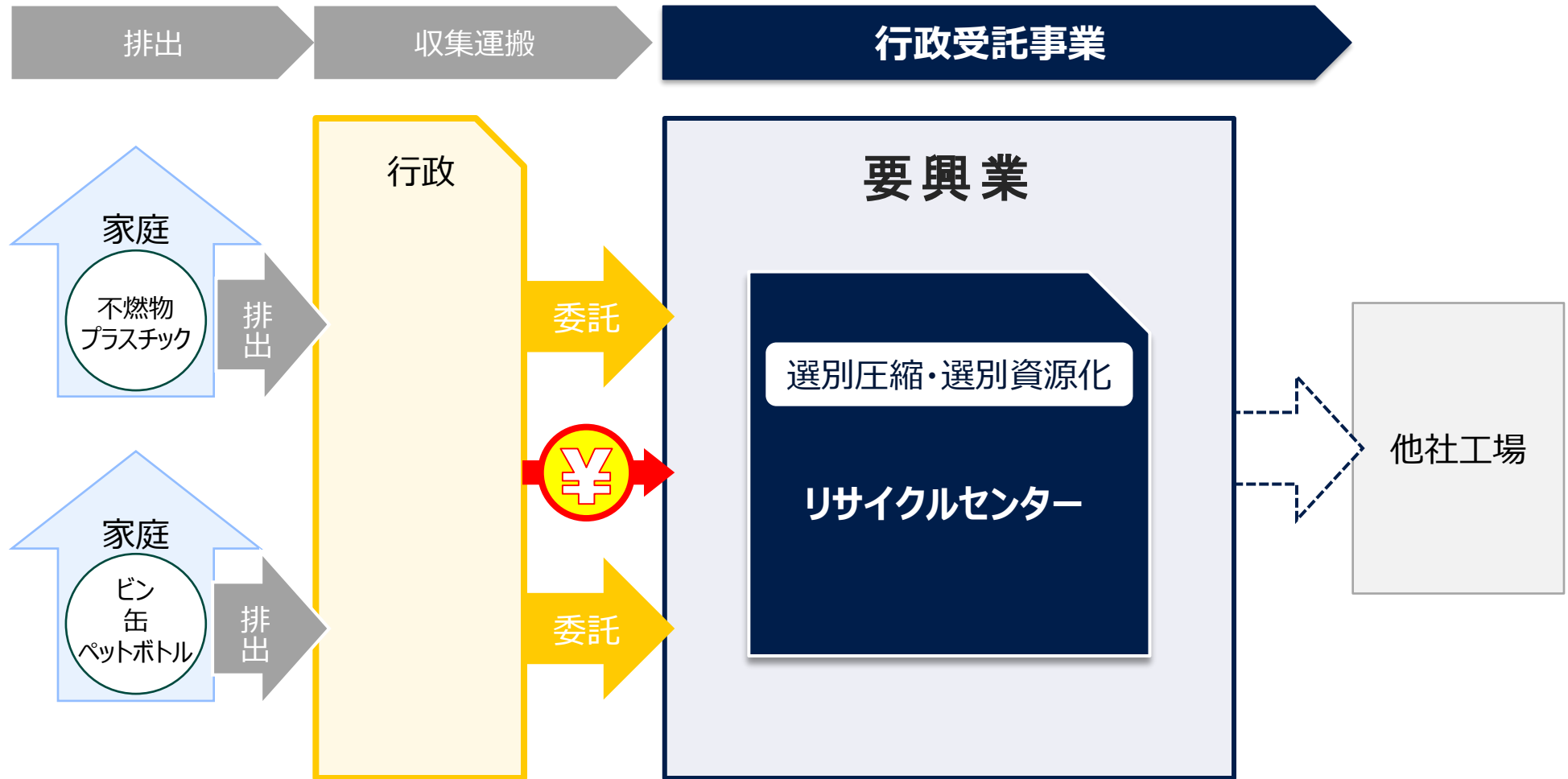
家庭ごみを収集し、行政区の清掃工場へ**運搬**



23区内の家庭ごみを収集する車両



リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**リサイクル（再資源化）**を行う

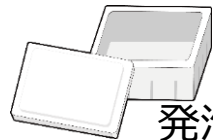


要興業のリサイクルセンターで扱う資源物は、このようなものとなります。

燃やさないモノ

資源

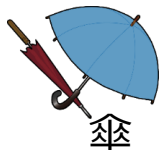
容器包装・製品プラスチック



発泡スチロール



廃プラスチック類



傘



ガラス・陶磁器



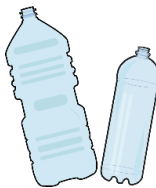
鉄製調理器具



丸電球



スプレー缶



PET



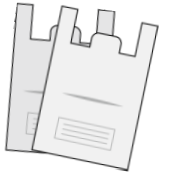
缶類



びん



綺麗なプラスチック



レジ袋



卵パック



お菓子の袋



容器類



お弁当・お惣菜の容器



文房具

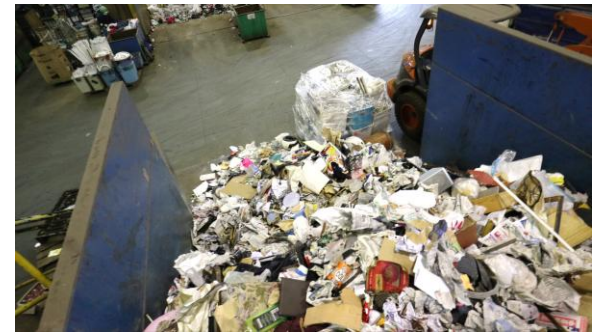


日用品



おもちゃ

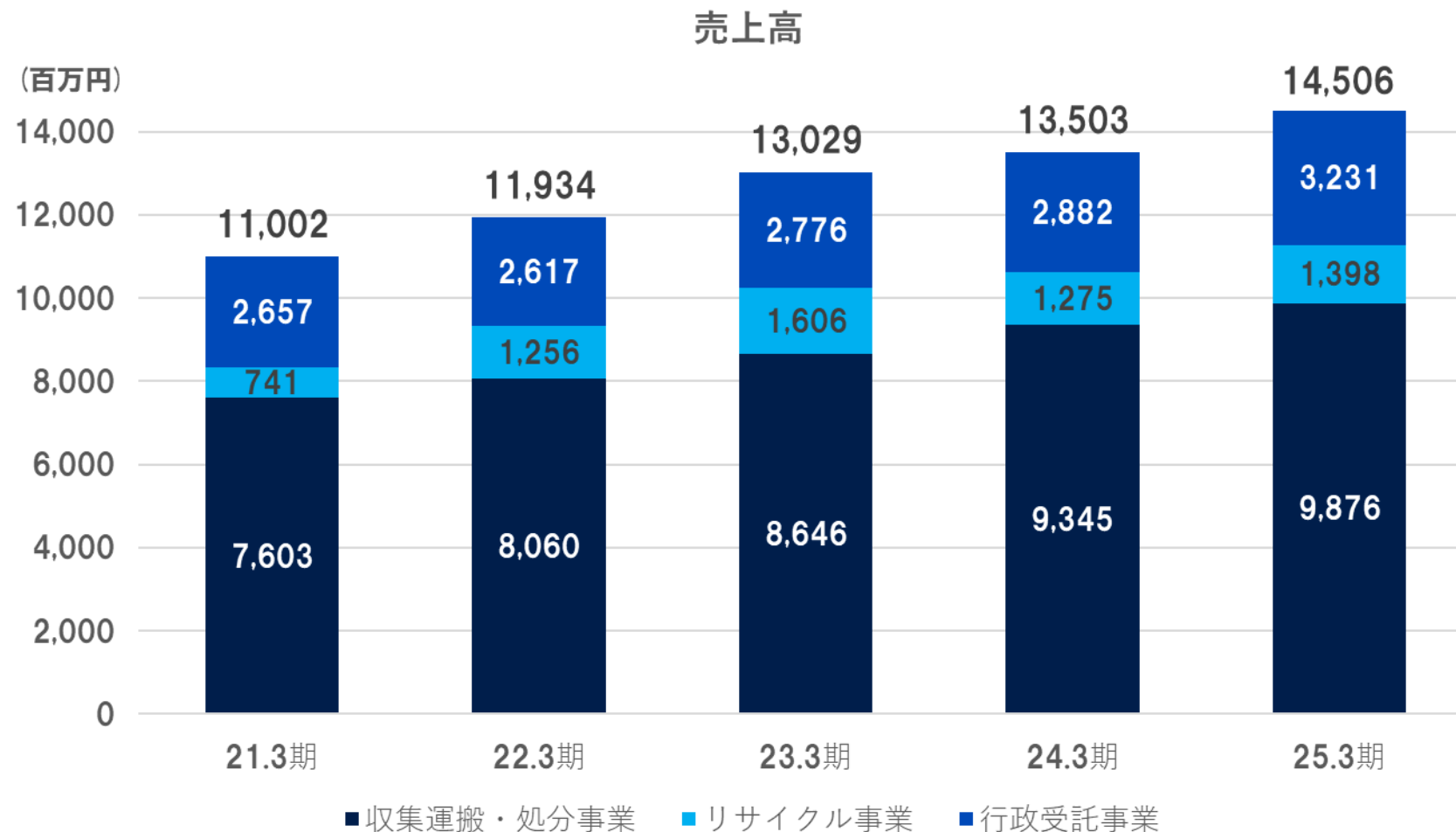
リサイクルセンターでカテゴリー毎に選別し、アライアンス先へ搬出する不燃物資源化事業



家庭系プラスチックを選別・圧縮する事業

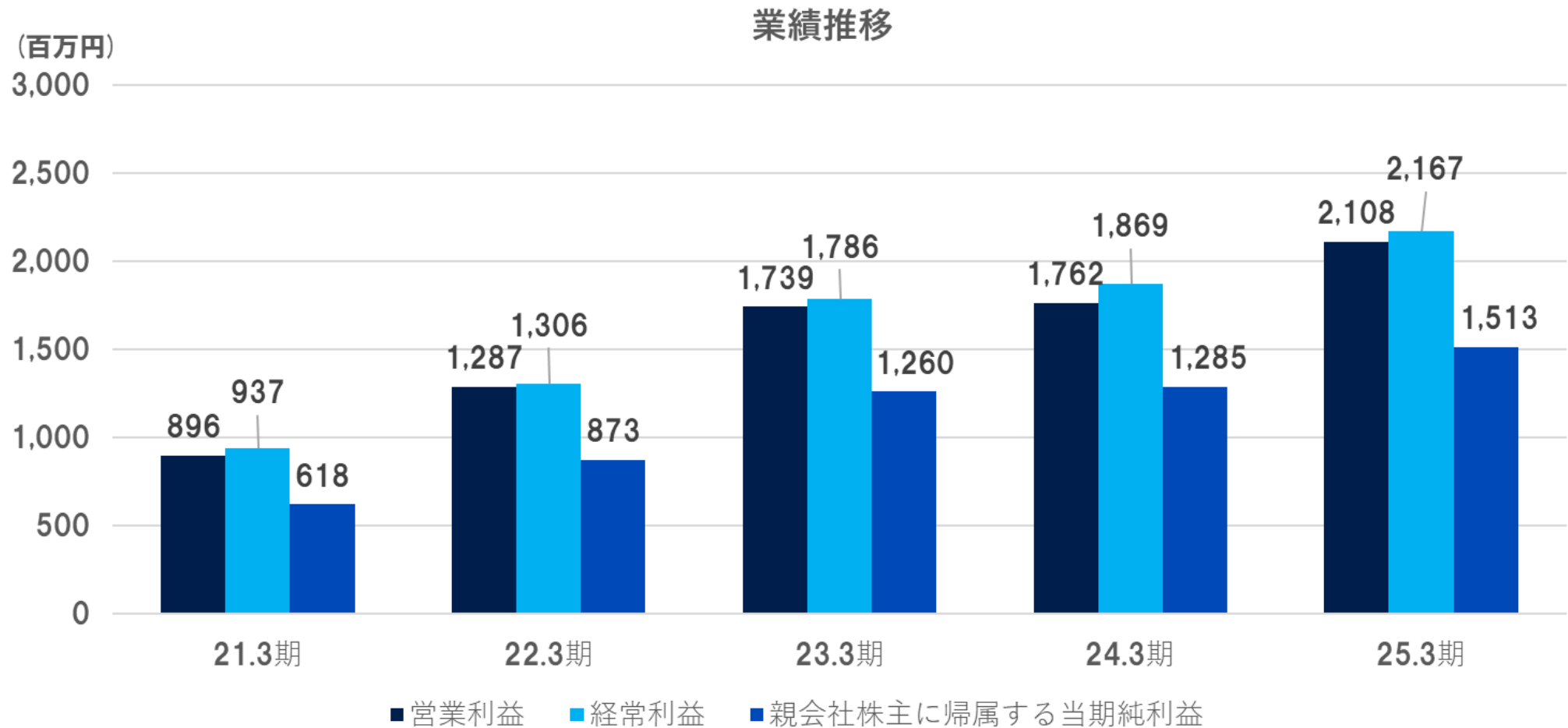


- 売上高は順調に拡大しております。
- 2024年3月期と比べると7.4%、2023年3月期と比べると11.3%の増収となりました。

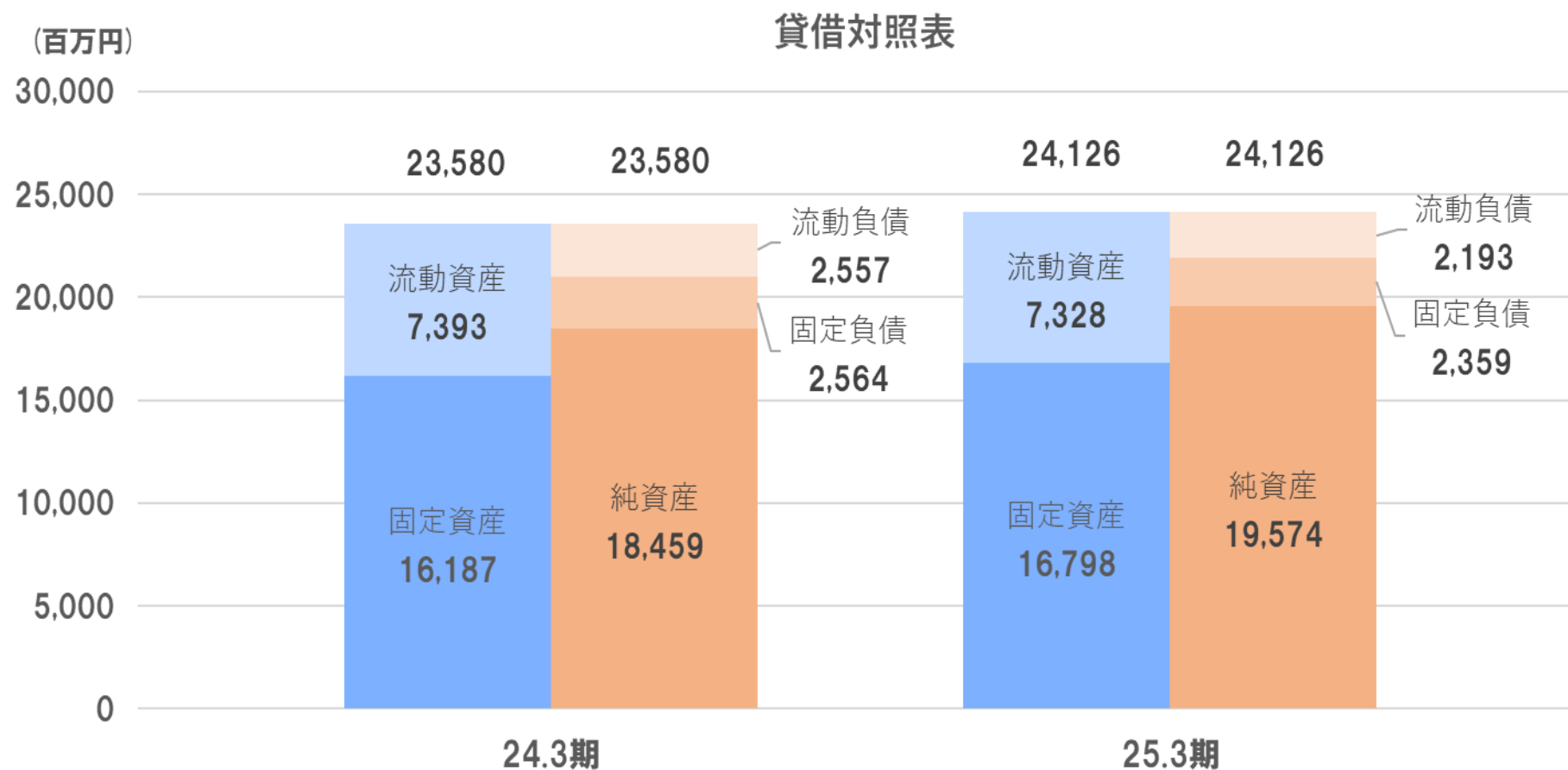


利益額の推移

- 前期と比べ、増益となりました。
- 営業利益は前期比19.6%の増益、経常利益は16.0%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は17.7%の増益となりました。



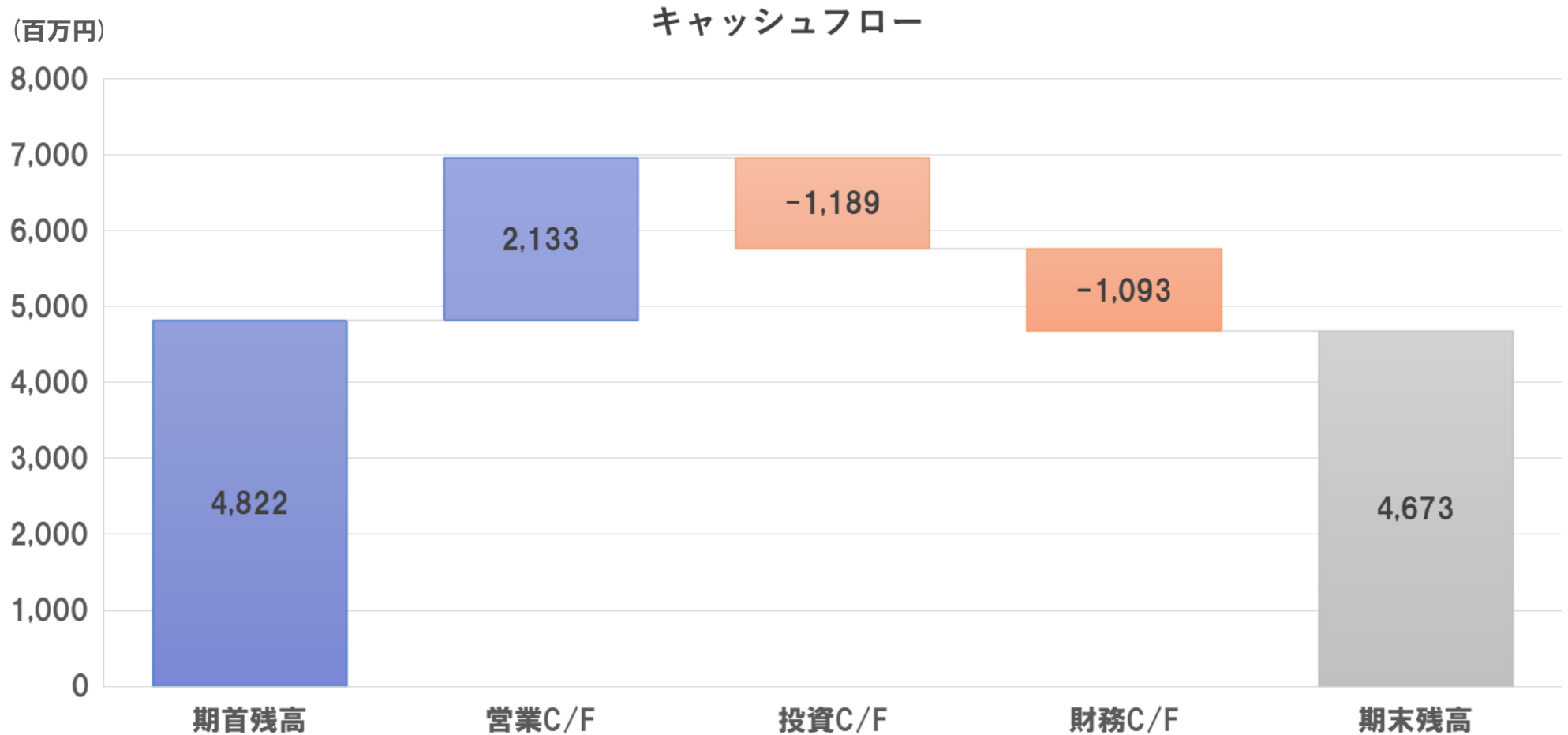
- 流動資産は減少し、固定資産は増加しました。
- 流動負債、固定負債は減少し、純資産は増加しました。
- 自己資本比率は81.1%となりました。



キャッシュフロー（2025年3月期）



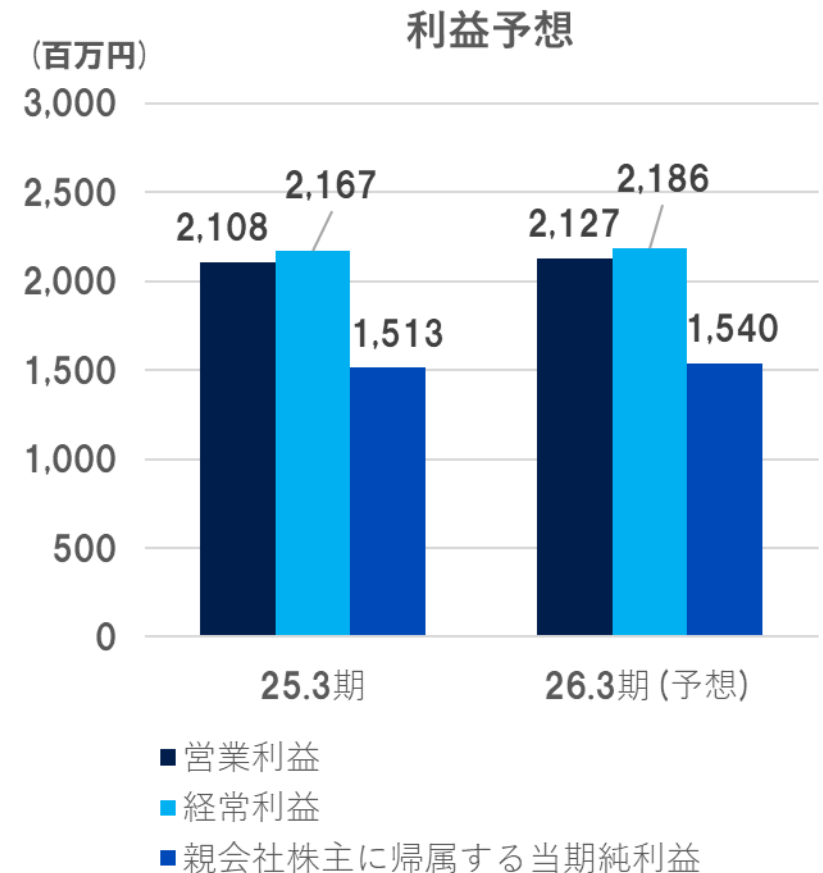
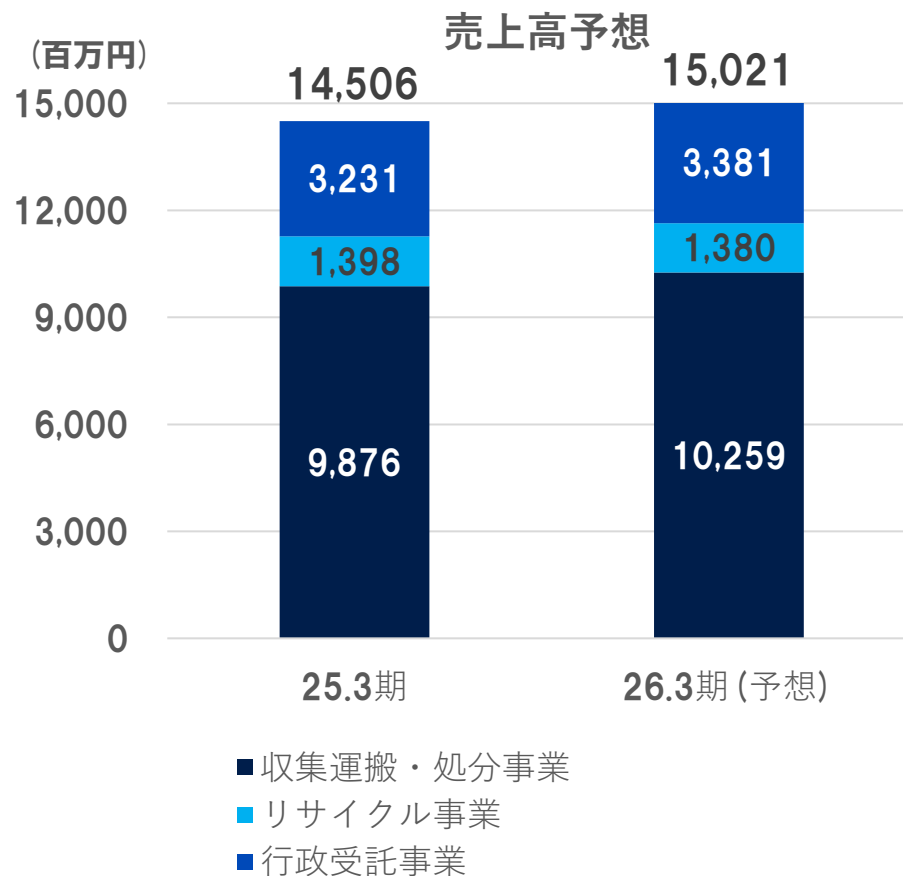
- 現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、1億4900万円減少し、46億7300万円となりました。



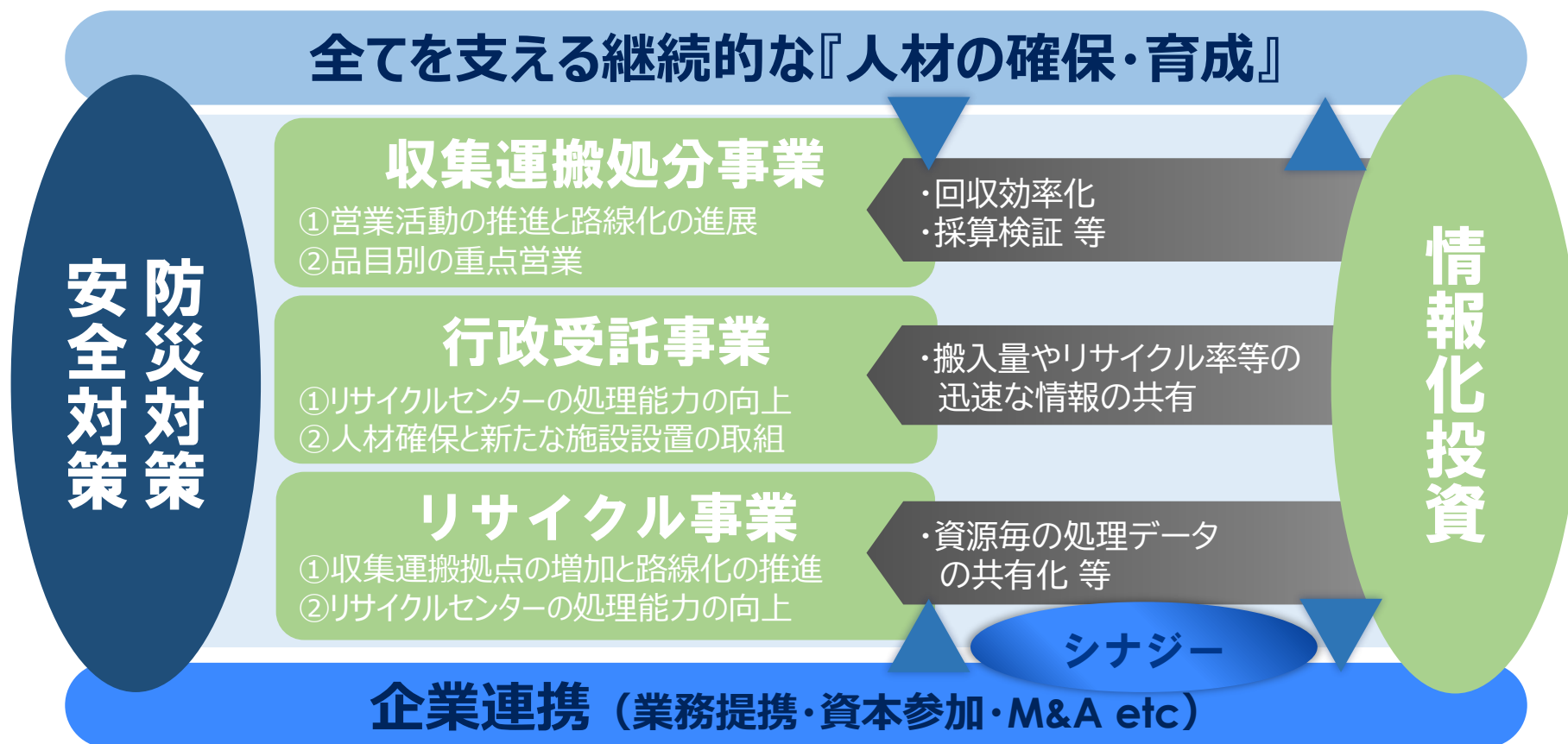
2026年3月期 連結業績予想



- 売上高は150億2100万円と、前期比3.5%の増加を予想しております。
- 営業利益は前期比0.9%増の21億2700万円、経常利益は同0.9%増の21億8600万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1.7%増の15億4000万円を予想しております。



2026年3月期までの期間につきましては、更なる成長へのステップとして、当社主力の3事業に加え、積極的な情報化投資と企業連携を通じ、**年商150億円 ROE 8.0%**に挑戦いたします。



2023年6月に発表した中期経営計画の進捗状況



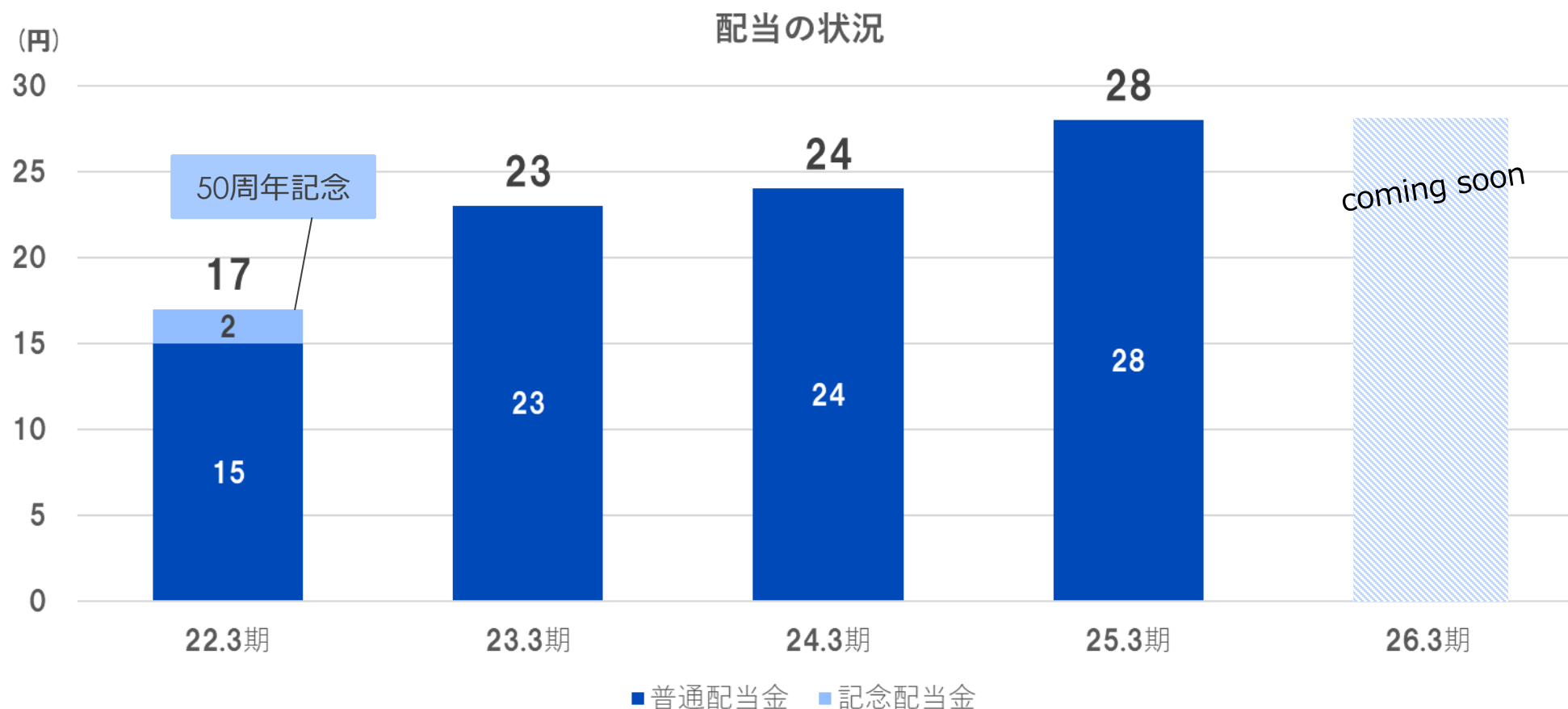
(百万円)			中期 3 か年計画											
		23.3期	24.3期			25.3期			26.3期			3か年増減		
		実績	計画値 (2023年 5月15日開示)	実績	計画比 (2024年 11月14 日開示)	修正計画値 (2024年 11月14日 開示)	実績	計画比 (2024年 11月14 日開示)	計画値 (2023年6月 15日開示)	計画値 (2025年5 月15日開示)	前期比			
主力事業の強化	売上	13,029	13,435	13,503	+68	14,463	14,506	+43	15,552	15,021	+515	+ 1,992	15%	
	営業利益	1,739	1,743	1,762	+19	2,034	2,108	+74	2,054	2,127	+19	+ 388	22%	
	営業利益率	13.3%	13.0%	13.0%	-	14.1%	+15	-	13.2%	14.1%	+14			
	経常利益	1,786	1,790	1,869	+79	2,089	2,167	+78	2,086	2,186	+19	+ 400	22%	
	経常利益率	13.7%	13.3%	13.8%	-	14.4%	14.9%	-	13.4%	14.6%	-			
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,260	1,213	1,285	+72	1,425	1,513	+88	1,408	1,540	+27	+ 280	22%	
	当期純利益率	9.7%	9.0%	9.5%	-	9.9%	10.4%	-	9.1%	10.3%	-			
	自己資本	17,429	18,265	18,458	+193	18,798	19,592	+794	20,168	20,500	+908	+ 3,071	18%	
	ROE	7.4%	6.8%	7.2%	-	7.6%	8.0%	-	7.1%	7.7%	-	-		

↑ROE8.0%達成を目標としております。

株主様への利益還元



- 株主様への利益還元の一つの施策である配当に関しては、上場当初より配当性向30%水準を目安としております。2025年3月期につきましては、前期より4円増加の28円とさせていただきます。



2025年3月期 トピックス



千住RC 容器包装プラスチック/製品プラスチックの選別・圧縮・梱包事業(行政委託)



鹿浜RC 容器包装プラスチック/製品プラスチックの選別・圧縮・梱包事業(行政委託)



城南島RC 容器包装プラスチック/製品プラスチックの選別・圧縮・梱包事業の設備増強



入谷RC 発泡スチロール破碎・溶融プラントの新設



安全運転への取り組み



BCP 水害や地震を想定した避難訓練を実施



本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。